

平成 22 年 12 月期 第 3 四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成 22 年 11 月 12 日

上場会社名 ビリングシステム株式会社

上場取引所 東

コード番号 3623 URL <http://www.billingjapan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 江田 敏彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 住原 智彦

TEL 03-5501-4400

四半期報告書提出予定日 平成 22 年 11 月 15 日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 22 年 12 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22 年 12 月期第 3 四半期	932	—	151	—	150	—	145	—
21 年 12 月期第 3 四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1 株 当 た り 四 半 期 純 利 益	潜 在 株 式 調 整 後 1 株 当 た り 四 半 期 純 利 益
	円 銭	円 銭
22 年 12 月期第 3 四半期	9,368 96	—
21 年 12 月期第 3 四半期	—	—

(注) 1. 当第 1 四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成 21 年 12 月期第 3 四半期の数値及び対前年同第 3 四半期増減率については記載していません。

2. 平成 22 年 12 月期第 3 四半期の潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益は、希薄化効果を有する株式が存在しないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22 年 12 月期第 3 四半期	4,741	1,501	31.2	95,451 72
21 年 12 月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 22 年 12 月期第 3 四半期 1,479 百万円 21 年 12 月期 一百万円

(注) 当第 1 四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成 21 年 12 月期の数値については記載していません。

2. 配当の状況

(基準日)	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21 年 12 月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22 年 12 月期	—	0.00	—		
22 年 12 月期(予想)				0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成 22 年 12 月期の連結業績予想 (平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	1,274	—	208	—	209	—	223	—	14,411.03

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

(注) 連結業績予想につきましては、当第 1 四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期の増減率については記載していません。

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 一社（社名）—、除外 一社（社名）—

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年12月期3Q	15,503株	21年12月期	15,503株
-----------	---------	---------	---------

② 期末自己株式数

22年12月期3Q	—株	21年12月期	—株
-----------	----	---------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

22年12月期3Q	15,503株	21年12月期3Q	15,503株
-----------	---------	-----------	---------

（※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示）

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	5
(第 3 四半期連結累計期間)	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) セグメント情報	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
4. (参考) 個別財務諸表等	8
(1) (参考) 四半期貸借対照表	8
(2) (参考) 四半期損益計算書	9
(3) (参考) 四半期キャッシュ・フロー計算書	10

1. 当四半期の連結業績に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や政府による経済対策などにより、一部持ち直しの傾向が見られたものの、円高の長期化やデフレの進行、また株式市場の低迷など、景気下振れリスクが高まっており、依然として不透明感が払拭できない状況であります。

このような状況の下、当社グループは既存顧客へのサービスの深堀と、新規顧客獲得のため、積極的な営業を展開してまいりました。

この結果、当第 3 四半期連結累計期間の業績は、売上高 932,226 千円、営業利益 151,097 千円、経常利益 150,676 千円となりました。また、業容拡大のため本店の移転を予定しており、それに伴う特別損失として、減損損失 5,986 千円、移転損失引当金繰入額 3,260 千円を計上するなどした結果、四半期純利益は 145,247 千円となりました。

なお、平成 22 年 1 月に、トランスファーネット株式会社を子会社化したことに伴い、当第 1 四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較は行っておりません。

事業のセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 決済取次事業

当事業は、インターネットを利用した株式の売買、為替・金融先物取引に付随する銀行口座、証券口座（証拠金口座）間の資金移動をリアルタイムでサポートするクイック入金サービス、通販事業者等、多数の集金が必要な企業へ各種の決済手段による収納情報をリアルタイムで一元管理する収納代行サービスおよび、複数取引先への一括送金業務をサポートする支払サポートサービスであります。

当第 3 四半期累計期間の売上は、827,906 千円、営業利益は 137,053 千円となりました。

② ファイナンス事業

当事業は、当社グループが提供している決済取次事業のサービスを利用して頂くことで蓄積される決済データに基づき、企業の回収期日と支払期日との間に生じる期間の差に対し、資金繰りの支援を行うサービスであります。

当第 3 四半期累計期間の売上は 58,490 千円、営業利益は 12,124 千円となりました。

③ その他の事業

当事業は、環境ビジネスに関するサービスと、決済取次事業・ファイナンス事業に直接紐づかない事業コンサルティングなどのサービスを「その他の事業」としてセグメントしております。

当第 3 四半期累計期間の売上は 45,829 千円、営業利益は 7,795 千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第 3 四半期連結会計期間末における総資産は、4,741,358 千円となりました。主な内容は、流動資産では、現金及び預金 3,559,510 千円、買取債権 586,535 千円であり、固定資産では、有形固定資産及びその他無形固定資産 26,112 千円、のれん 19,095 千円、投資その他の資産 73,799 千円であります。

当第 3 四半期連結会計期間末における負債は、3,239,391 千円となりました。主な内容は、預り金 2,696,824 千円であります。

当第 3 四半期連結会計期間末における純資産は 1,501,967 千円となりました。主な内容は、資本金 1,154,088 千円、利益剰余金 325,699 千円であります。

(注) 当第 1 四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期末との比較・分析は行っておりません。

② キャッシュ・フローの状況

当第 3 四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、3,559,510 千円となりました。

当第 3 四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、その要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は 271,672 千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が 141,429 千円計上されたものの、ファイナンスサービスの伸長に伴う買取債権の増加 386,366 千円等により、資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により得られた資金は 2,277,985 千円となりました。これは主に、連結の範囲の変更に伴う子会社株式の取得による収入により 2,308,985 千円の資金が増加したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は 261,316 千円となりました。これは主に、短期借入金の純増減額が 268,000 千円計上されたことによるものであります。

(注) 当第 1 四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期末との比較・分析は行っていません。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第 3 四半期累計期間までの業績は概ね当初計画どおりに推移しており、平成 22 年 2 月 12 日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第 3 四半期連結会計期間末
(平成 22 年 9 月 30 日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	3,559,510
売掛金(純額)	313,704
買取債権	586,535
商品	72,126
その他(純額)	90,473
流動資産合計	4,622,351
固定資産	
有形固定資産	8,076
無形固定資産	
のれん	19,095
その他	18,036
無形固定資産合計	37,131
投資その他の資産	73,799
固定資産合計	119,007
資産合計	4,741,358
負債の部	
流動負債	
買掛金	35,610
短期借入金	368,000
未払法人税等	1,854
預り金	2,696,824
賞与引当金	8,206
移転損失引当金	3,423
その他	125,470
流動負債合計	3,239,391
負債合計	3,239,391
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,154,088
利益剰余金	325,699
株主資本合計	1,479,788
少数株主持分	22,179
純資産合計	1,501,967
負債純資産合計	4,741,358

(2) 四半期連結損益計算書
(第 3 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成 22 年 1 月 1 日 至 平成 22 年 9 月 30 日)
売上高	932,226
売上原価	535,084
売上総利益	397,141
販売費及び一般管理費	246,044
営業利益	151,097
営業外収益	
受取利息	1,001
その他	121
営業外収益合計	1,122
営業外費用	
支払利息	1,542
その他	0
営業外費用合計	1,542
経常利益	150,676
特別損失	
減損損失	5,986
移転損失引当金繰入額	3,260
特別損失合計	9,246
税金等調整前四半期純利益	141,429
法人税、住民税及び事業税	892
法人税等調整額	△8,014
法人税等合計	△7,121
少数株主利益	3,304
四半期純利益	145,247

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成 22 年 1 月 1 日 至 平成 22 年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	141,429
減価償却費	10,702
減損損失	5,986
のれん償却額	3,369
受取利息	△1,001
支払利息	1,542
売上債権の増減額 (△は増加)	10,804
買取債権の増減額 (△は増加)	△386,366
たな卸資産の増減額 (△は増加)	12,936
仕入債務の増減額 (△は減少)	△29,885
未払金の増減額 (△は減少)	△10,315
預り金の増減額 (△は減少)	△32,243
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	558
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,209
移転損失引当金の増減額 (△は減少)	3,423
その他	△9,293
小計	△270,141
利息及び配当金の受取額	1,043
利息の支払額	△1,445
法人税等の支払額	△1,130
営業活動によるキャッシュ・フロー	△271,672
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△957
無形固定資産の取得による支出	△1,131
敷金の差入による支出	△28,849
連結の範囲の変更に伴う子会社株式の取得による収入	2,308,473
従業員に対する長期貸付金の回収による収入	450
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,277,985
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	268,000
長期借入金の返済による支出	△6,684
財務活動によるキャッシュ・フロー	261,316
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,267,628
現金及び現金同等物の期首残高	1,291,881
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,559,510

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成 22 年 1 月 1 日 至 平成 22 年 9 月 30 日)

	決済取次 事業 (千円)	ファイナン ス事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	合計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対す る売上高	827,906	58,490	45,829	932,226	—	932,226
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	210,371	—	—	210,371	(210,371)	—
計	1,038,278	58,490	45,829	1,142,598	(210,371)	932,226
営業利益	137,053	12,124	7,795	156,972	(5,875)	151,097

(注) 1. 事業の区分の方法

事業は、提供するサービス及び商品 considering して区分しております。

2. 各事業の主な内容

(1) 決済取次事業 クイック入金サービス、収納代行サービス、支払サポートサービス

(2) ファイナンス事業 資金繰り支援サービス

(3) その他の事業 環境ビジネスに関するサービス、事業コンサルティングサービス

② 所在地別セグメント情報

当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成 22 年 1 月 1 日 至 平成 22 年 9 月 30 日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

③ 海外売上高

当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成 22 年 1 月 1 日 至 平成 22 年 9 月 30 日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. (参考) 個別財務諸表等

前事業年度末及び前第 3 四半期会計期間に係る財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成 21 年 12 月 31 日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,291,881
売掛金	299,548
買取債権	200,169
商品	85,062
その他	65,185
流動資産合計	1,941,847
固定資産	
有形固定資産	17,845
無形固定資産	22,867
投資その他の資産	83,715
固定資産合計	124,428
資産合計	2,066,275
負債の部	
流動負債	
買掛金	43,823
短期借入金	100,000
1年内返済予定の長期借入金	6,684
未払法人税等	2,814
預り金	436,311
その他	142,100
流動負債合計	731,734
負債合計	731,734
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,154,088
利益剰余金	180,452
株主資本合計	1,334,541
純資産合計	1,334,541
負債純資産合計	2,066,275

(注) 当社は、当第 1 四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、個別財務諸表を参考資料として記載しております。

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

科目	前第 3 四半期累計期間 (自 平成21年 1 月 1 日 至 平成21年 9 月30日)
売上高	734,302
売上原価	393,503
売上総利益	340,798
販売費及び一般管理費	205,336
営業利益	135,462
営業外収益	1,177
営業外費用	305
経常利益	136,334
特別損失	13
税引前四半期純利益	136,320
法人税、住民税及び事業税	712
四半期純利益	135,608

(注) 当社は、当第 1 四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、四半期財務諸表等規則に基づいて作成した四半期個別財務諸表を参考資料として記載しております。

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	前第 3 四半期累計期間 (自 平成21年 1 月 1 日 至 平成21年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	136,320
減価償却費	13,235
固定資産除却損	13
受取利息	△1,127
支払利息	305
売上債権の増減額 (△は増加)	△37,606
買取債権の増減額 (△は増加)	124,584
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△43,743
前渡金の増減額 (△は増加)	71,021
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,026
預り金の増減額 (△は減少)	356,335
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,543
その他	△2,608
小計	629,300
利息及び配当金の受取額	1,048
利息の支払額	△369
法人税等の支払額	△950
営業活動によるキャッシュ・フロー	629,029
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△4,037
無形固定資産の取得による支出	△3,442
従業員に対する長期貸付金の回収による収入	700
長期前払費用の取得による支出	△319
その他	△43
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,143
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	50,000
長期借入金の返済による支出	△8,330
財務活動によるキャッシュ・フロー	41,670
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	663,556
現金及び現金同等物の期首残高	676,930
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,340,487

(注) 当社は、当第 1 四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、四半期財務諸表等規則に基づいて作成した四半期個別財務諸表を参考資料として記載しております。